

2011-2024

2024 10 / 9 第 96 号

# ふくしま 再生 短信

報告会：2024年10月20日 14時 東大農学部 弥生講堂アネックス

## あ<sup>3</sup>の<sup>1</sup>日<sup>1</sup>から 協働の歩み



2011



2024年10月20日  
14時から、東大農学部  
弥生講堂アネックスで特  
定非営利活動法人ふくし  
ま再生の会（理事長・田  
尾陽一）主催・東京大学

農学生命  
科学科ア  
グリコ



13時より再生  
の会総会開催。  
ふくしま再生



クリーン共催によ  
る「福島・飯館  
村の状況と再生  
活動の報告会」  
が開催される。  
報告会に先立ち

#ふくしま再生の会報告会

13年余も継続している意味

10月20日 14時開始  
東京大学農学部 弥生講堂アネックス

懇親会 17:00START予定

#基調講演 溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科・教授)

2024

どなたでも参加できます。参加費なし。カンバ箱あり

organizer 2011  
主催：認定NPO法人ふくしま再生の会  
共催：東京大学農学生命科学科アグリコファン

福島・飯館村の状況と再生活動のご報告

久しぶりに東大農学部でお会いしましょう！

有志グループが飯館村の菅野宗夫さん宅を訪ね誕生。前日には津波で流されたバス・民家・漁船が潟湖を埋める松川浦を目の当たりに。

BIS1

最も進んだコミュニティのスタートを再生活動により多様な活動に。事故後13年余にわたり、コロナの時期に活動を再開。この間に大きく復活してきた。継続的に活動している。農産物産出・野営調査・放射能・放射線測定など、積極的に活動している。これらの活動により、村民・移住者、さらには地域のネットワークが増えて、コミュニティが創られ、点と点を繋ぐ活動が活発化している。この中で、ふくしま再生の会の活動の底流にあるのは、自然と共生するコミュニティの再生を目指すという考えである。地球温暖化など環境危機に直面している現在、人間が自然から独立した存在ではないという認識が、世代を超えて共有されつつある。

16人の  
の会  
は、20  
11年6  
月6日、



2015

有志グループが飯館村の菅野宗夫さん宅を訪ね誕生。前日には津波で流されたバス・民家・漁船が潟湖を埋める松川浦を目の当たりに。



2017



2024

前年の稲刈りの切り株がそのまま広がる田圃群。2015年KESの協力を得て村民との協働で全村・全戸の放射線モニタリングを実施。2017年、12年の試験作付を含め6回目の稲刈りを実施。2024年、図図書館に再生の会の総合展示がオープン。  
乞う！報告会ご来場。  
（撮影&文責・若林一平）  
（ポスターデザイン製作  
アグリコクーン・渡壁さん）